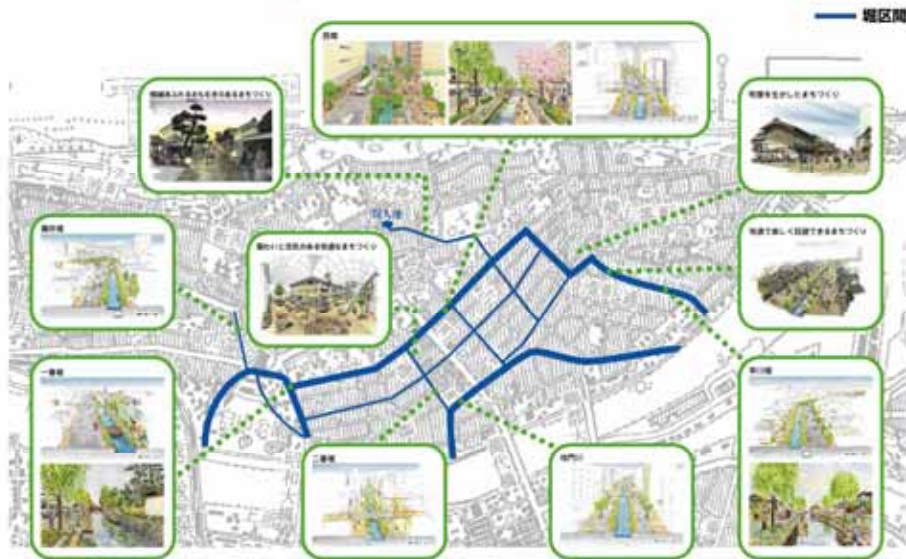
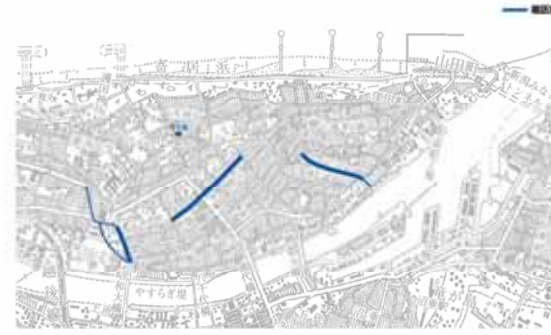


私たちの考える新潟の将来

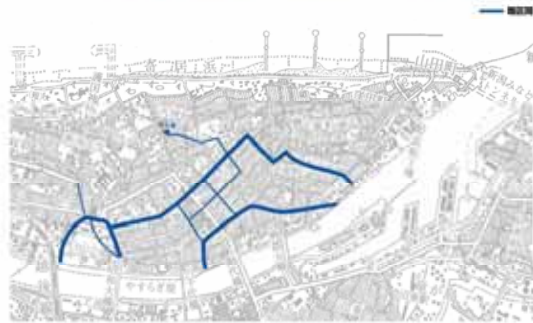


将来のトータルイメージ

私たちの考える 5~10年後の新潟



私たちの考える 30~40年後の新潟



人がにぎわう「堀の町にいがた」



将来の夢

経済特区の認定を受けて、自由な活動が展開され、自由な空間が広がる。
公共交通が優先され、まちなかに水と緑が溢れ、
光と風、音と香りを感じられる人に優しいまちになる。

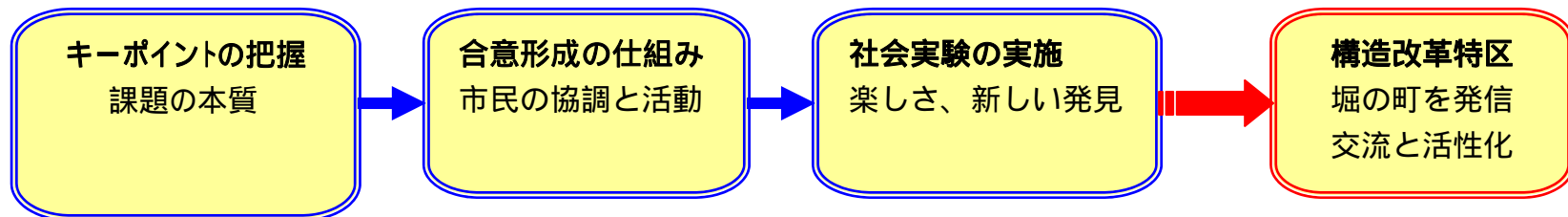


これから

これまでの活動成果から浮かび上がってきた課題と今後の展開

堀を前提とした社会実験の実施
人々の移動や堀部部分での活用方法
地域住民がうける生活形態の不便さの確認
車交通の把握と公共交通、新交通システムの導入検討
既存のイベントとの共催による相互効果の検証
市民の合意形成の仕組みとそのスキームづくり
都市交通や都市構造の変化による影響の検討
地区住民が受ける暮らしぶりの変化

このプランが実現するためには、これらの課題や検討項目を精査しその本質を探り
キーポイントとなる要点を把握し適切に対処方法を組み立てることである。



まとめ

前述の課題を検討し考察すると「堀のあるまちづくり」は将来、必ずその価値と意義が認知され「にいがた」のまちにとって大切な資産となり、財産となることを確信する。

江戸時代から引き継いできた堀の歴史を語り継ぐことが、「にいがた」のアイデンティティであり、全国に「にいがた」を発信する重要なポイントであることを認識したい。

この提言は「堀の町にいがた」のプロローグである。或いは「塗り絵」の下図でもある。

これから多くの人を楽しみながらいろんな色を重ね、その思いを描いて欲しい。

今は奇抜な発想も明日は斬新なアイデアとして新しいまちづくりに受け入れられるからである。

いま、はじめたこの物語がこれから幾多の展開を繰り広げながら進み、

次世代が評価をして引き継ぎ、この夢が彩られたエピローグと成ることに思いを馳せて、

この提言を新潟市民と全国に発信する。

講演・発表者 (依頼)

順不順・役職名は当時

篠田 昭 氏	新潟市長	望月 迪洋 氏	新潟日報社編集委員室長
川端 五兵衛氏	近江八幡市長	小林 弘 氏	新潟日報社編集委員
岡村 幸弘 氏	北陸地方整備局河川管理課長	蒲原 宏 氏	日本医史学会理事長
大花 博重 氏	新潟県都市政策課係長	藤村 誠 氏	郷土史研究家
水野 隆 氏	新潟県都市政策課主査	斎藤 栄路 氏	新潟市会議員
広松 伝 氏	全国水環境交流会代表幹事	藤田 普 氏	新潟中央水産市場(株)社長
伊東 祐之 氏	新潟市歴史文化課主幹	石塚 かおり 氏	BSN 新潟放送アナウンサー
大熊 孝 氏	新潟大学工学部教授	後藤 昇 氏	沼垂の今昔を語る会会長
西沢 輝泰 氏	新潟大学経済学部教授	石山 徳治 氏	沼垂の今昔を語る会幹事
中村 文彦 氏	横浜国立大学大学院助教授	大田 朋子 氏	フリーライター
澤村 明 氏	新潟大学経済学部助教授	三原 サトミ 氏	ホテルオークラ新潟
田中 洋樹 氏	日本銀行新潟支店長	大橋 包 氏	大橋旅館
熊谷 健一 氏	日本政策投資銀行新潟支店長	今湊 正子 氏	勝念寺
中山 輝也 氏	新潟経済同友会代表幹事	長谷川守英 氏	本町十二番町自治会長
		星野 敬一 氏	下本町商店会長

参考文献・資料

堀割に関するシンポジウム開催業務委託報告書・新潟市 H13年
堀と柳に関する基本調査業務委託報告書・新潟市 H13年
「懐かしい未来へ」・国土交通省河川部 都市水路検討会 中間報告書 H17年
新潟市第四次総合計画・新潟市
新潟市都市マスタープラン・新潟市
新・新潟市合併マニフェスト・新潟市 H16年
新潟の「堀」再生を考える・中山輝也著作
堀割再生考座報告書・堀割再生物語プロジェクト実行委員会・H15年
第七回堀割再生考座報告書・堀割再生物語プロジェクト実行委員会・H16年
堀割再生物語プロジェクト実行委員会ホームページ・シンポジウム講演集
堀割再生まちづくり新潟ホームページ・活動報告
堀割再生まちづくり新潟 活動記録集・H17・18年
堀割塾記録報告書・NPO 法人勉強会 H17年
にいがた堀割物語絵図・堀割再生物語プロジェクト実行委員会 H15年
特集「水の都再生へ」・讀賣新聞社 大阪本社 H18年
「新潟の堀と橋」新潟歴史双書・新潟市
地域レポートVol. 3, Vol. 9, Vol. 16・日本政策投資銀行
北陸地方整備局出前講座「河川管理を考える」・北陸地方整備局河川部 H15年
新潟県出前講座「新しい時代の都市づくりに向けて」・新潟県土木部都市局 H17年